

オーディオ実験室収載

第三リスニングルームの整備 (5) (HP 収載)

1. はじめに

前報(4)に引き続き、第三のリスニングルームの整備を実施しました。

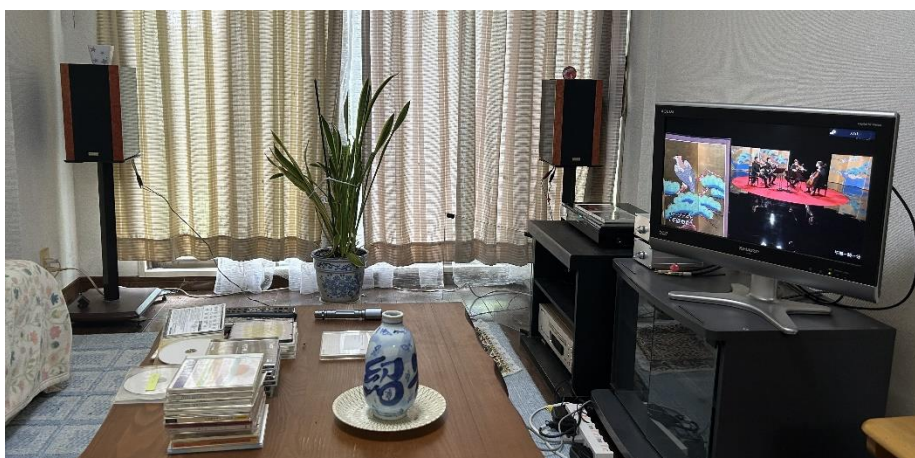
2. 第三のリスニングルームの整備内容

前報(3)ではマランツ 7 タイプキットプリアンプを第一のリスニングルームに移動し、その後に Leak Point1 を設置し、Pilotone 5881pp と接続して、TAANOY III LZ を駆動しました。入力系は、ユニバーサルプレイヤーの Marantz DV-9500 とします。TANNOY オートグラフミニを第一のリスニングルームに移動し、その後に Acoustic lab. Stella Harmony を設置し、Heath Kit の W5M KT66pp を第一のリスニングルームに移動し、その後に LXA-OT8 で Stella Harmony を駆動するようにし、入力系は DMR-BZT910 としました。前報(4)では、LXA-OT8 をさらに 1 台追加し、L/R2 台のモノラル駆動としました。

その後、さらに TANNOY III LZ、Leak Point1、Pilotone 5881pp を第一のリスニングルームに移動し、サブシステムとして再構成しました。その経過はサブシステムの再構成(15)で報告しています。

それ故、第三のリスニングルームは、簡素化した構成で配線をやり直すことにしました。スピーカーは Stella Harmony のみ、アンプは LXA-OT8 の L/R2 台のモノラル駆動、入力系は Marantz DV-9500 と DMR-BZT910 を配線替えて使うことにしました。

3. 整備後の試聴結果





再構成後の音質としては、DV-9500 の CD 再生、DMR-910 の録画再生とも、LXA-OT8 のデジタルアンプのクールな表情を Stella Harmony が和らげてくれることは以前と同様です。

4. まとめ

機器構成を縮小した第三のリスニングルームの整備が完了しました。

以上